

平成31年4月21日

山北町議会議員選挙

# 選挙公報

山北町選挙管理委員会

## ※町づくりを皆さまとともに

私は、音楽を通じて多くの子供たちとふれあって参りました。情緒豊かな音楽体験とおしてみんなが素晴らしい大人になりました。

幼児教育がいかに大切なものかを身をもって感じております。少子高齢化社会に対応すべく福祉はますます重要な問題となってきます。

私は、柔軟な感性をいかして「もっと住みよい町」「もっと心のかよ福祉の町」「元気な町民のあふれる町」にチャレンジしていきます。

**プロフィール**

1948年2月28日山北町生まれ、川村小学校、山北中学校を経て、神奈川県立小田原城内高校卒業、武蔵野音楽大学短期大学部ピアノ専攻卒業

現在山北町議会議員四期目副議長、福祉教育常任委員長、現在、議会運営委員長、総務環境常任委員会委員、広報分科会委員、議会のあり方検討委員会副委員長、山北町ボランティア連絡協議会副会長、山北町社会福祉協議会評議員、バーチャルライフ中川評議員、山北町俳句協会相談役、山北クラシック音楽連盟会員、NPOまちづくり研究会会員

その他の活動  
音楽教室主宰、こどもから成人まで幅広く指導  
音楽ボランティア車いすダンスにより高齢者施設等でボランティア活動

●もっと情報公開を！  
行政の情報を皆さまにわかりやすく伝えたい。  
皆さまのお声を町行政に届けたい。

●福祉行政のより一層の充実を！  
高齢者の健康づくりと生きがいづくりに取り組みます。

●地域教育を皆で頑張りたい！  
音楽をとおして感性豊かな人づくりをすすめます。  
子育てしやすい環境と皆さまがふれあえる環境づくりをめざします。



# せいのえつこ

無所属

森。山。未来へ、  
山北町の9割は山林ですが、十分に活用しているとは言えない状況です。そこで、長年林業に携わってきた経験と知識、子育て真っ最中の視点を生かし、

①木材利用の仕組み(木の駅)づくり  
・利用価値のない間伐材を山主から買取り、薪としてストックする。  
・新ストーブ、薪ボイラーの導入を促進しその薪を使用。  
・住民にも薪ストーブの購入を補助し、山北の山で山北のエネルギーの自給を目指す。

②子育てしやすい環境づくり  
・広大な山を活用し、子供が安心して遊べる自然環境の場づくり(木のプレイパーク)  
・木育(木のおもちゃ、机など)の推進  
・こども園の送迎バスの導入

を目指します。  
いろいろな意見を聞かせてください。

●プロフィール●  
・1984年 東京都生まれ  
・山形大学農学部生物環境学科卒  
・三重県の佐藤林業にて5年間、林業に携わる  
・山北町に移住、共和にて地域の森づくりに携わる

・昨年結婚、第一子を出産  
・消防第7分団に入団し活動中



# 富田陽子

35歳

無所属

## 私は全力で実行します まちづくり!!

### 子どもの安心・安全な教育環境の推進

- ・地域の人々との協働による教育環境の整備
- ・世代間交流と地域の伝統行事・文化活動の継承を支援

### 中高齢者が力となり生きがいのある地域社会づくり

- ・健康長寿一番を目指す、健康町民のまちづくりの推進
- ・中高齢者の健康づくりのための生涯学習とスポーツの振興を支援

### 議会改革の推進と議会機能の強化

- ・議会のさらなる改革で議会と町民の活発な討論の場づくり
- ・幅広い層の人、若い人が議員活動するための環境整備

【学歴】  
昭和36年：小田原高等学校卒業  
昭和40年：日本大学経済学部卒業

【経歴】  
平成22年：町議会議員初当選  
平成23年：山北町議会議員(2期目)  
平成27年：山北町議会議員(3期目)  
山北町議会副議長

昭和18年2月8日生まれ



# 瀬戸あきひろ

若い力で  
未来をひらく! **45歳**  
無所属

- ◎魅力あふれる観光地づくり  
(仮)山北スマートIC開設を見据え、体験型観光などを軸に、魅力あふれる観光地づくりに取り組みます。
- ◎健康長寿のまちづくり  
健康づくりやボランティア団体の活動を促進し、元気な高齢者が活躍できる健康長寿のまちづくりに取り組みます。
- ◎子育てと教育環境の充実  
保護者目線に立ちながら、更なる子育て支援と特色ある学校教育の充実に取り組みます。
- ◎有害鳥獣被害対策の拡充  
耕作意欲を減退させる有害鳥獣被害。ヤマビル・マダニも含め、早急な対策に取り組みます。
- ◎広域連携の促進  
県西地域はもとより、隣接する静岡県や山梨県など、県を越えた連携を強化し、課題解決に取り組みます。
- ◎もっと開かれた議会に  
町民との対話の場を増やし、距離の近い開かれた議会活動に取り組みます。

《こだま 洋一 プロフィール》

1973年 12月5日 東京都出身  
1992年 県立相模台工業高等学校 機械科 卒業  
第28期 ラグビー部所属(全国大会 第3位)  
1992年 三共株式会社 入社  
現)第一三共フアーマ株式会社  
2015年 町議会議員 初当選  
・議会運営委員会 副委員長  
・福祉教育常任委員会 副委員長  
・広報広聴委員会広報分科会 委員



# こだま洋一

- 山北町の特徴を生かした町づくり。
- 政治は住民のもの、ふれあいを大切に意見を反映します。
- (仮称)山北スマートインターを最大限生かした地域づくり。
- 統廃合した小・中学校の建物及び跡地の利活用の検討。
- 都市部への水源を自覚した森林整備。
- 人口減少対策の推進。



# 山崎政司

## 府川輝夫の挑戦

- 定住対策と産業振興に向けた土地の活用と雇用の創出
- 通学・通勤、高齢者等交通弱者が安心して使える町内交通網の再構築
- 鳥獣被害対策と耕作放棄地の再活用
- 町が保有する公共施設の維持と新規施設のあり方の見直し
- 町域90%の森林の保全と災害に強く経済効果を生む森林づくり
- 山北スマートインターチェンジを軸とした回遊性のある幹線道路の必要性
- 御殿場線と東海道線をつなぐ交通系ICカード相互利用に向けた活動



# 府川輝夫

現在、山北町はイベント行事等多数行うも人口減少に歯止めがかからない現状があります。行政を行うには適正規模があり、あまり小さいと非常に効率が悪くなりすべての経費が割高になるのは当然で、人口流出も続き消滅都市扱いされてしまいます。近隣市町村での市町村合併の話も、関係者の損得や地理的問題で出ては消えの繰り返しです。この責任は議員にも重いものがあると思います。選挙も前回無選挙、今回の山北町議会選挙立候補者説明会でも私が出席しなければ定員不足という人気の無い状況でした。しかし、0歳から60歳の今まで60年間以上山北町に住み続けて思うことは、ここは決して悪くないと思うことです。権利関係は別にして水力発電などを含む自然エネルギー自給率400%の町、東名高速道路、国道246号線など日本の大動脈が通る町、御殿場線などJRの駅がある町、(世界的にも観光地として知られる)箱根の北に位置する町、関東圏で富士山が一番近い町、関東圏の電波が届く町、など他町にない色々良いところがあります。

ここで今回はある提案を掲げて立候補したいと思えます。それは「バーチャル箱根シティー構想」です。「バーチャル箱根シティー構想」とは御殿場線と東海道線で囲まれたエリアを「バーチャル箱根シティー」とする県境をまたいでの構想です。地理的一体感のあるエリアが行政区分で分断され不利益を被っている現状を解消する一つの手段と考えます。詳しくは「堀口恵一 facebook」で検索

近々、開通する「(仮称)南箱道路」は「やまきた」から「箱根」への道でもあります。ここで「やまきた」は「箱根やまきた」として進化、活性化出来ると考えています。東京のミラー都市としての「バーチャル箱根シティー」、都会テイストの利便性と精神的及びスペースのゆとりのあるシティー、山間地の不利をドローンで克服し100万人都市を実現することは可能だと思います。バーチャルとリアルが混合し、バーチャルの世界が日々大きくなっている現代、莫大な可能性を持っているこの地域には統合システムを放棄したバーチャルに対応出来る資質のある議員が必要と考えます。



# 堀口恵一

町内人口増加しと  
目的としたさまざまなた  
対策に取り組みます。  
ご協力下さい。



# 伊藤文孝

愛する山北のため、  
いまできること!

- 少子高齢社会になった今、地域住民のみなさんのむすびつき(絆)を強める接着剤になります。
- こども、おとな、高齢者、おとこ、おんな、すべての生活者の交流をはかる場作りを推進し、過去から今日まで脈々と受け継がれてきた生活文化の伝承を活発にします。
- みんながより豊かな健康寿命社会で生きていけるよう地域活動を活発にし、だれもが生活の主人公になれる町をめざします。



# 清水明

平成31年4月21日

山北町議会議員選挙

# 選挙公報

山北町選挙管理委員会

執行



## 鈴木とし子

これからは『心の豊かさ』が求められる時代。

女性のしなやかな感性を活かし『自然と共生』をテーマに

環境・福祉・防災を重点に『安心して暮らせる町づくり』に

全力をつくします。

私は、山北町で生まれ65年生活してまいりましたこの町が大好きです。

山北町は山・川・湖・滝が有り又海にも近く県内でも豊かな自然景観を持ち、この山北町を皆様と誇りに感じ、次の世代にこの環境を継承しつつ豊かな町造りをしていきたい。私が目標としていきたい事は、次の通りです。

1 少子高齢化に伴い、山北町の人口が1万人を切ろうとしています。私が着目したのは「空き家対策」です。壊れ掛けた家屋の修繕、家屋の管理を町が行い、安く提供することにより、空き家に他地域からの移住を勧め人口増加をはかります。そうすることにより犯罪の温床の削減と景観悪化の防止策につながり、皆様が安心安全に生活の出来る町造りに取り組みます。

2 伝統文化の継承です。私は長年地元の御神輿にたずさわってきました。山北町の皆様とのふれあい、御神輿を通して近隣地域との交流を大切にしてきました。今後もこの経験を活かして山北町ならではの、文化を次の世代に継承しさらにお子様から高齢者様まで交流を持てる場を増やしていきます。まずは1及び2項目を実現していき、地域代表として皆様のご意見に耳を傾けて頑張ります。

“皆様と一緒に山北町を良くしていきましょう”



## 遠藤和秀

女性の視点とパワーで  
夢あふれるふるさとを  
守り育てます

☆皆様の声が活かせるまち  
私が届けます。皆様の声を

☆笑顔あふれるまち  
活躍の場があり、交流の場がある  
あったかいまちをめざします

☆自然豊かなまち  
自然を守り、共有しながら暮らせる  
豊かなまちをめざします

☆安心して子育てできるまち  
子どもの声がひびき、元気な姿があふれる  
活気あるまちをめざします

《4つの約束しっかり実行》



## 石田てるこ

### 築こうあなたと未来の故郷

- 主な実績——
- パークゴルフ場の利用者増加のために
  - ①一日利用券の発行を実現
  - ②町主導の大会を年2回開催
  - ③女子トイレに聲音装置を設置
  - 認知症の早期発見、早期治療に繋げるために
  - 町のホームページに認知症チェックリストを掲載
  - 子育て世代支援のために
  - ①子育て世代包括支援センター(すこやか)を設置
  - ②すべての新生児へ聴覚スクリーニング検査の推進

- 私の約束！——
- ◇安全安心のまちづくり
  - ・子育て世代支援の充実
  - ・災害に強いまちづくりを推進(防災意識の向上)
  - ・高齢者が安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進
  - ◇健康のまちづくり
  - ・介護予防策の充実
  - ・パークゴルフ人口増加による健康づくりの推進
  - ・ガン検診受診率の向上

- プロフィール——
- 出身校 岩手県立釜石商業高校
  - 趣味 パークゴルフ、園芸
  - 座右の銘 一人の人を大切に
  - 家族 夫

公明党



公明党公認  
**くまざわ友子**  
ともこ  
(63歳)



## 和田成功

注目を浴びた議会づくり

活気ある住み良い山北町へ

町民のみなさんの為の議会です。みなさんが関心を  
持つ議会が変わる、議会が変われば町が変わる。

何か必要で何が無駄なのか？「見て」「聞いて」「調べて」  
と基本に一つずつ情熱を持ってそこから始まる  
新しいまちづくり」に取り組んでいきます。

少子高齢化が進む中、自治会運営や行政運営を担う者が減少していることは事実であり、月日を重ねるごと深刻化しています。この事は、自治体消滅問題にも継っており、人材育成が急務です。

町の歴史文化を継承する世代に、どのように伝えるのかを考えると、小学校の授業に取り入れるのもひとつの手段です。様々な経験を重ねてきた人物が、次世代の担い手へ託す思いを伝えることが大切と考えます。

「世代の架け橋運動」を進めていきます。

町は今、新東名の工事により風景が変貌しています。山北の豊かな自然を守る上で、農業や林業の保護は不可欠です。その上で、近年増えている獣害被害に対し対策を講じてまいります。また、休耕地を利用した農業の再構築を提案します。



## 瀬戸伸二